

第1回戦没者遺骨鑑定センター運営会議
(概要)

- 日 時：令和2年7月29日(水) 13時30分～14時25分
- 場 所：TKP 新橋カンファレンスセンター ホール15A
- 出席者：浅村センター長、篠田構成員、玉木構成員、橋本構成員
谷内社会・援護局長、辺見審議官、泉援護企画課長、皆川事業課長、佐藤
事業推進室長、橋本鑑定調整室長、浅見企画運営調整官

【概 要】

1. 遺骨収容に関する技術の向上について

- ・遺骨収容において収容の手順が何よりも重要である。収容の手順書を充実したものとし、研修でしっかり取り組む必要がある。
- ・遺骨の判定に当たって参考となるような生前の写真などの資料を、必要に応じて、ご遺族から集めることを検討してはどうか。
- ・骨学研修を終えた後に、さらに見識を深めるための研修を検討して欲しい。

2. 所属集団判定会議と身元特定 DNA 鑑定会議の連携について

- ・身元特定の DNA 鑑定において使用する DNA データを所属集団の判定にも使用することとなるが、身元特定 DNA 鑑定会議と所属集団判定会議における技術的な課題を、相互にフィードバックさせる仕組みが必要になるため、そのための方策を検討して欲しい。

3. その他

- ・身元特定 DNA 鑑定会議の前身である DNA 鑑定人会議は、基本的に鑑定をするための会議だったが、今後、同会議では身元特定 DNA 鑑定の今後の方向性などを含めて議論する。
- ・所属集団の判定にあたっての STR 分析の結果の評価は、統一した基準のもとで実施していくべきである。